



シマの一年のはじまりは、
「奄美大島紬を着る」
これが奄美流！

「紬の日」実行委員会の会長である朝山市長から、「紬の日のつどい」にお集まりの皆さんにごあいさつ。



本場奄美大島紬協同組合山田理事長から、参加者への感謝と紬業界の復興に向けた力強いメッセージ。



幼い頃から島唄を通して人々を喜ばせ、成長してきた住姫乃・平田まりなの二人も、今春、ついに島を巣立ちます。



島唄・三味線・チヂンで盛り上げてくれる奄美高校郷土芸能部は、鹿児島県郷土芸能専門部発表大会で最優秀賞に輝きました！



老若男女を問わず、大島紬に袖を通せば、その美しさと着心地に人は必ず魅了されます。産地から紬着用の気運を盛り上げましょう。



皆でパレードしたあとは、島唄、六調で大盛り上がり。

紬の日
お正月
紬の日
成人式

やっぱり、奄美大島紬でショ～ ハイ アマミ～



行進の前に全員で記念写真を撮影しました。ここまで紬姿が揃うのは、本場奄美大島紬産地でも年一回だけ。

奄美のお正月は、 大島紬一色に 染まります。

奄美市では、旧名瀬市時代の昭和五十三年に毎年一月五日を「紬の日」と定め、市民がこぞつて紬を着用する「紬の日のつどい」を開催しています。

内容は盛りだくさんで、紬ファッションショーをはじめとするステージイベントや商店街を練り歩く紬大行進に多くの市民が集まります。

奄美市の成人式は、帰郷した新成人が参加しやすいようにと二月五日（住用町は三日）に開催されており、新成人の約四割が大島紬を着用して式典に参加しています。

最盛期には、地域住民の半分以上が大島紬製造に何かしら関わっていたとも言われます。昭和二十八年の日本復帰後、大島紬産業は奄美復興の中心的な担い手であり、全国的なブランド力は今でも奄美の誇りです。

紬の日に集う人々は、大島紬への感謝と振興を願う熱い思いを寄せ合います。

紬の日
お正月
紬の日
成人式



若さ溢れる紬姿。紬は正式なお点前には向かないと言われますが、本場奄美大島紬産地では積極的に紬着用の機会を設けています。



キヨラムン姉さんも頑張ります。



奄美市職員による島おこし応援バンドも、業務に支障のないメンバーは紬姿でオンステージしました。



奄美型アンテナショップ
「レンタル大島紬を開始」



本場奄美大島紬産地再生協議会（本場奄美大島紬協同組合・本場奄美大島紬販売協同組合・奄美市・龍郷町）はこのほど「奄美型アンテナショップ「バーンと奄美」中央区日本橋浜町という下町にて「2015慶春！本場奄美大島紬・産直大販売会」を実施しました。

本場奄美大島紬産地再生事業で製作した紬のレンタル事業を開始。東京でも屈指の着物が似合う町・日本橋で「粋な下町・江戸散歩を最上級の大島紬で」とPR。バーンと奄美は、伊仙町出身の佐平仁志さんが経営する都内唯一の奄美物産店舗として昨年11月にオープンし、100人応援団店舗に認定されました。今回の大島紬のイベントは、店舗の認知度アップも目的の一つとして、2日間に亘り本場奄美大島紬の厳選100反を産地直販特価で販売PRを行いました。



名瀬まち
紬大行進

本場奄美大島紬を受け継ぐ人々

～本場奄美大島紬発祥の地～

自然界のモチーフから生まれた奄美大島紬の魅力に触れるには、奄美の人々の心豊かな暮らしに出逢うことでしょう。さあ、奄美大島紬の再発見の旅へ。

一世紀柄といわれる龍郷柄、秋名バラを生み出した匠たちは自然と共に寄り添い、伝統は親から子へと継承し、着姿も親から子へと受け継がれています。

